

2 学年だより

夢の宅配便

2 学年主任

永野 喜代治

校庭からの声

私が、中学生の頃は一番好きな教科は何ですかと尋ねられたら、躊躇せずに体育と答える生徒がほとんどだったと思います。一週間の時間割の中で、体育や美術などの作業を伴う授業が集中している日は嬉しかったことを憶えています。

しかし、いつの頃からか体育が嫌いという生徒も多くなってきました。体育の授業でサッカーやハンドボールをしているのを見ていて、コートの中で動かないでプレーを見ている生徒や積極的にボールを取りに行かない生徒など、授業の参加の仕方が消極的な生徒がいることに気が付きます。運動が苦手な生徒もいるわけですから、全員が積極的にスポーツを楽しめないことも理解できる場所ではあります。昔は、スポーツができる、できないとか、得意、不得意でなく、みんなで体を動かすことが楽しかったのだと思います。運動が苦手な子も一緒に楽しんでスポーツをしていました。上手、下手は関係なく、みんなでゲームをしたりするのが楽しかったと思います。苦手な友達のプレーをみんなで受け止めていましたから、「ちゃんとやれよ!」とか「そんなこともできないの?」とか言う人はいませんでした。

今日の3時間目は、私は授業が入っていなかったので、職員室でテスト問題を作っていました。その時に「こっちにパスして、ナイス、走って!」など校庭から部活の練習試合のような活気のある掛け声が聞こえてきました。得点が入ったらしく「やったー! ナイス!」と大喜びな声が聞こえてきます。思わず、校庭を見たら、1年生が体育の授業でハンドボールの試合をしていました。コートの中で全員が全力で走り回り、本気で試合をしていました。誰一人、無気力の生徒はいませんでした。また、運動能力も高い生徒が多く、苦手な生徒をカバーしていました。みんなで、真剣に楽しんでいる体育をみながら、昔の昭和の体育授業がよみがえってきて、懐かしい気持ちになりました。「これだったな。体育の授業の雰囲気」心の中で私はそうつぶやきました。授業が終わって、教室に戻るときに、「負けっちゃったな、次は頑張ろうぜ! おれ、保健室によっていくよ。」と擦りむいたところをかばいながら笑顔で昇降口に歩いていきました。私も体育の後は、「あっちこっちすりむいたよな。」と思わずおもいだして懐かしい気持ちになりました。

2年生もこの便りで「運動能力が高い。」とほめています。みんなも運動が大好きで、得意な生徒が多いので、部活動を学校全体で盛り上げていったら、本当に城山中学校の運動部は活躍するだろうなと思いました。

来月から、夏の大会が各部活で始まります。2年生は3年生を支えて、そして1年生をまとめて、夏の大会に臨んでください。そして、秋からは城山中学校の部活は2年生が中心になります。本当に部活動が楽しみだなと校庭の体育の授業を見ながら思いました。